

27. 後腹膜・腹膜腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり ×: なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス		掲載されている内容		
								※トップページ以外を2つまで記載してください	※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	治療内容	治療実績	医師の専門分野
1	産婦人科	5	1	状況	○	○	集学的な先進医療が可能な大学病院として、できるだけ身体的・精神的な負担を軽減すべく短期入院で有効な療法ができるように努力しています。	ア	<a href="http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku18.html">http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku18.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	あり	あり		なし	イ	http://		
2	放射線科	2	0	状況	×	×	超高圧X線治療機器2台を整備し、CTによる治療計画を行い、放射線治療の対象となるあらゆる種類の悪性腫瘍に対して、副作用が少なく局所制御が高い治療を目指しています。	ア	<a href="http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku17.html">http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku17.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし		なし	イ	http://		
3				状況				ア	http://			
				実績					イ	http://		
4				状況				ア	http://			
				実績					イ	http://		
5				状況				ア	http://			
				実績					イ	http://		

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍
	後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍